

「萩の語り部」のご紹介

萩の魅力や、そこにある物語をわかりやすくお話しします。

「萩の語り部」とは、萩の豊かな歴史、文化、自然などについて、「情熱」「志」を持って物語(ストーリー)として語れる人たちです。観光、研修、修学旅行などで萩を訪れる方々への「話のおもてなし」や、地域での学習会等で、「萩の語り部」の話をきいてみませんか。

名前	タイトル	内容	パワーポイント 使用の有無
小野 幹雄 (萩市)	(松下村塾)教育の基本	塾生の紹介や杉家の家風、勉強修行(松陰の足跡)、野山獄での教育について	無
	最後の長州藩主 毛利敬親	「そうせい侯」と呼ばれた幕末の長州藩主・毛利敬親の藩政について	有
	松陰先生のメッセージ・ことば	松陰先生の略歴 石碑(現存する石碑の場所やその石碑にまつわるエピソード)	有
片山 町子 (萩市)	下田踏海	二十一回猛士の説 東北遊歴の結果、ペリー来航、兵学者としての対応 海外渡航の決意～決行について 密航の結果とその後松陰が歩んだ道、日本の将来に与えた影響	有
清水 洋介 (萩市)	木戸孝允(桂小五郎)	吉田松陰との出会い 斎藤弥九郎との出会い 逃げの小五郎? 小五郎をささえた女性たち 明治維新の三傑	無
末永 光正 (萩市)	「日本の工業の父」山尾庸三と吉田松陰の接点を考える	山尾庸三の生涯 山尾庸三と吉田松陰の接点 山尾信一の語る祖父山尾庸三	有
	「花燃ゆ」ヒロイン「文」と夫「玄瑞」の愛の書簡	旅先の玄瑞が文に送った書簡集「涙袖帖」を紐解きながら、二人生きた時代を振り返る	
	「上海行」が晋作の思想に与えた影響	晋作の「上海行」の背景 晋作の「上海行」前の動き 「上海行」によって変化した晋作の思想(松陰の思想からの脱却)	
中野 悦子 (萩市)	世界遺産候補 大板山たたら製鉄遺跡	たたら製鉄のあらまし・萩藩領の製鉄業(近世)・大板山たたら製鉄遺跡について	有
	四境戦争について	長州藩追討令と第1次長州出兵・第2次長州出兵と長州藩抗幕体制の確立・四境戦争開戦・まとめとして朝敵であった長州軍が官軍へとなつたいきさつについて	有
	維新の先駆者・吉田松陰	松下村塾の松陰の教育方針、松陰の人物像、文を取り巻く家族について	有
	吉田松陰と松下村塾	松下村塾の変遷、教育構想、教育目標 村塾教育の特色 吉田松陰の人間形成の背景、人間及び教師としての松陰	有
	松陰の盟友 楯取素彦	楯取素彦の一生を5部に分けて説明	有
	萩の筋名	城下町や・御成道エリアを中心に現在確認されている筋名を紹介	有

「萩の語り部」のご紹介

萩の魅力や、そこにある物語をわかりやすくお話しします。

「萩の語り部」とは、萩の豊かな歴史、文化、自然などについて、「情熱」「志」を持って物語(ストーリー)として語れる人たちです。観光、研修、修学旅行などで萩を訪れる方々への「話のおもてなし」や、地域での学習会等で、「萩の語り部」の話をきいてみませんか。

名前	タイトル	内容	パワーポイント 使用の有無
繁澤 静子 (萩市)	吉田松陰とその家族	至誠をもって国の為に一生を貫き通した吉田松陰。その陰には苦しい時にも支え合い家族と交わした深い信頼と愛情があった。「この家族にして松陰あり」	有
	吉田松陰の生涯	松陰の生い立ちから兵学修業、遊学、ペリー来航、野山獄、幽囚室、松下村塾の教え、再入獄、東送、殉難まで	
繁澤 征夫 (萩市)	村田清風から吉田松陰へ	吉田松陰は幼年時代より村田清風の教えを受け「四埜の論」により全国を遊歴し見聞を広めた。海外密航失敗後、松下村塾での教育が実を結び、後に門下生達が明治維新への道を切り拓いていった。	有
	吉田松陰から高杉晋作へ	吉田松陰の「草莽掘起論」が高杉晋作の奇兵隊結成から藩政府打倒の戦いに成功、薩長同盟へとつながり明治維新への大きな原動力となった。	
	幕末 長州戦争と大村益次郎	禁門の変から第一次長州征討、さらには下関戦争の敗戦後、長州藩存亡の危機を救ったのは村医者から蘭学、医学、兵学を究めた村田蔵六こと大村益次郎であった。	
番屋 洋 (萩市)	久坂玄瑞	京都政変・池田屋事件・禁門の変 寺島忠三郎と久坂玄瑞の最後 禁門の変後の長州	無
吹上 修身 (萩市)	高杉晋作の馬関挙兵	激動の長州藩について	無
	山田顕義とその一族	山田顕義とその家系 山田顕義とその一族	
三浦 忠廣 (防府市)	吉田松陰教育思想4つの原点	杉家の家風、兵学師範の道、欧米列強に対する危機感、九州遊学など	有
	高杉晋作の死生観 ～師吉田松陰との出会い～	高杉晋作の家族構成や人柄など 松陰との出会いから松陰処刑まで(松下村塾入塾や江戸遊学など)	
三隅 達雄 (山口市)	歌詠み人としての松陰	松陰の漢詩や俳句、短歌、涙松集、訣別の書、留魂録を通じて松陰像を語る	無
	松陰の竹島開拓策とその余話	二つの竹島 松陰の手紙(桂小五郎・久坂玄瑞宛) 幕府への建言書 坂本龍馬と竹島開拓 吉田松陰・坂本龍馬・勝海舟・岩崎弥太郎にもふれている	

「萩の語り部」のご紹介

萩の魅力や、そこにある物語をわかりやすくお話しします。

「萩の語り部」とは、萩の豊かな歴史、文化、自然などについて、「情熱」「志」を持って物語(ストーリー)として語れる人たちです。観光、研修、修学旅行などで萩を訪れる方々への「話のおもてなし」や、地域での学習会等で、「萩の語り部」の話をきいてみませんか。

名前	タイトル	内容	パワーポイント 使用の有無
山根 千鶴子 (萩市)	吉田松陰と野山獄 ～獄が学び舎となる～	入獄の理由と二十一回勇士 獄での生活と獄中教育 家族・親族の理解と協力 富永有隣について	有
	吉田松陰と家族 ～家族・故郷との別れと覚悟～	松陰の家族について 野山獄再入獄(理由と江戸送り命令) 江戸送り前の松陰の決意 松陰の肖像(自賛肖像) 松陰の妹(寿・文)婿・楯取素彦に与えた「至誠の書」や別れの歌など	
	-激動の幕末を駆けた- 高杉晋作	奇兵隊結成～第一次長州征伐・下関拳兵～第二 次長州征伐～明治維新 (晋作の下関拳兵・活躍を中心に)	
山根 和人 (山陽小野田 市)	世界最初の松陰の伝記について	門下生 正木退蔵の生涯と スティーブソン著「ヨシダトラジロウ」の紹介	無
	安政5年12月11日～ 安政6年10月27日	寺島忠三郎と松陰 久子と松陰 東送(江戸送り) 松陰その死 エピローグ	